



やま で ら ひかり
山寺の光



山寺小中学校だより
令和8年8月28日
校長：武田 裕子

学校教育目標：郷土「山寺」を愛し、社会に役立つ人間の育成

🌻 2学期始業式 🌻 みんながしあわせな2学期に！

2学期が始まりました。元気なみなさんと再会できて、とても嬉しく思います。夏休み中も、みなさんの活躍がたくさんありました。中学生は、大分県本匠中のみなさんを立石寺に案内し、芭蕉記念館と一緒に俳句づくりを行うなど、心温まる交流ができました。この様子は8月1日の山形新聞にも紹介されました。夏季学習会に参加した小中学生のみなさんも、よくがんばりました。また、花笠まつりでは、小中学生と地域の皆さん、先生方が一緒に参加し、大いに楽しみました。

さて、2学期は行事が多く、授業の内容もレベルアップする学期です。山寺物語、磐司太鼓、運動会、中学生は進路決定など、みんなで力を合わせる場面がたくさんあります。

山寺小中学校のめざす姿は「みんながしあわせな学校」です。そのために、みなさんには3つの力を大切にしてほしいと思います。

① 自分と向き合う力（考える子ども）

自分のいいところや頑張っていることを、自分で認めながら成長していきましょう。困ったことや悩んだことがあったら、友達やお家の人、先生など、まわりの大人に相談してください。自分の心と体を大事にすることが、とても大切です。

② 多様性を認める力（助け合う子ども）

友達のよいところを見つけたり、困っている人に声をかけたりして、やさしい気持ちを広げていきましょう。授業の中でも、友達の意見からたくさん学んでください。

③ 目標に向かって挑戦する力（たくましい子ども）

なりたい自分や、できるようになりたいことを決めて、少しずつチャレンジしてみましょう。学習も行事も、コツコツ続けることが大切です。

最後にもう1つ。あいさつに力を入れていきましょう。みなさんは、なぜ、あいさつは必要だと思いますか。ぜひ、担任の先生といっしょに考えてみましょう。

この3つの力+あいさつを大切に、先生方とともに「みんながしあわせな2学期」をつくっていきましょう。みなさんの活躍を楽しみにしています。

2学期始業式

🌸 児童生徒代表あいさつ 🌸

2学期頑張りたいこと 中学2年 手塚 弦さん

私が2学期頑張りたいことは3つあります。

1つ目は勉強です。1学期はいい点を取ったり、悪い点をテストで取ったり差があったので、2学期ではバランスよくどの教科も点数を取れるようにしたいです。

2つ目は山寺小中運動会です。私は昨年山寺中に来て初めての運動会でしたが、小学生と一緒にやる競技もあり、山寺でしか体験できないようなこともできました。中学校の最高学年で、同じ白軍である3年生が勝てるように貢献したいです。そして今年は1年生も入ってきて後輩ができたので、1年生を引っ張っていけるように頑張りたいです。

最後に頑張りたいことはサッカーです。大事な試合を前に、怪我でプレーできない期間が長かったので、調子を戻すのが大変でした。2学期はスタミナが切れないように努力したいです。初の東北大会出場を目指して、チーム一丸となって頑張ります。

夏休み中も小中学生が活躍しました！

山形市 山寺中生と大分の中学生が 俳句交流 山寺を訪れ作句



2026/08/06 朝刊 地域

俳句の世界を広げようと、山形市の山寺中（武田裕子校長）と百人一首が縁で交流する大分県佐伯市の本匠中（高野徹校長）の2、3年生5人が7月30日、山形市山寺地区を訪れた。

5人は佐伯市の「郷土本匠広報大使」の代表として来県した。両校の生徒は俳聖松尾芭蕉が歩いたという立石寺の石段と一緒に上り、交流を深めた。山寺芭蕉記念館では、俳人武田菜美さん（山形市）が講師を務め、芭蕉は推敲（すいこう）を重ねて句を完成させたと説明。「俳句は他の物や季語に託して心の動きを表現する。心の動きにぴったりの言葉を見つけてみよう」と話した。

両校の生徒はこの日の体験から感じたことなどを俳句に詠んだ。本匠中2年の田中まいさん（13）は、五大堂で体を休めた際に風が吹き抜け、とても気持ちよかったといい、「風涼し 遠くを眺め 五大堂」と詠んだ。本匠中の生徒たちは地元に戻り、山寺の魅力とともに俳句の面白さを広める。

（菅原亜希子）

R8.8.5 山形新聞掲載



R8.8.5 山寺花笠愛好会



R8.7.31～4日間 学校運営協議会主催
夏季学習会